

単元名 1 深まる学びへ ―漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 配当時間 1時間

単元の目標 (1) 第2学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読み，また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れることができる。
(3) 積極的に漢字を読んだり，書いたりしようとする。

標準的な展開例

12210107_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 漢字2字の熟語の読み方には，音または訓を重ねる読み方のほかに，音と訓を組み合わせた読み方があることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 漢字の読み方の種類を知ろう。 ○ 重箱読みと湯桶読み，熟字訓について学習する。 ○ 練習問題1・2に取り組み，漢字の音訓に着目して漢字の読み方を学習する。 ○ 「漢字に親しもう1」(p. 40)の問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熟字訓については，教科書(p. 39)を参照させて，定着を図りたい。 ・ 教科書の練習問題だけでなく，補充的な問題も用意したい。 「三年生で学習した音訓」(p. 301)や「常用漢字表」(p. 302)，「常用漢字表 付表」(p. 316)，漢和辞典などで，音読みと訓読みを確認させる。 【評】漢字の読み方の種類を確認する活動を通して，「知識・技能」を評価する。 ・ 言葉の意味が分からないときは，国語辞典等で調べさせるとよい。 【評】漢字を読んだり，書いたりする活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

第3学年のスタートにあたり，第2学年までの学習を生かしつつ，言葉への気付きをより深いものにさせたい。詩や小説，古典を通して，言葉の力や豊かさに気付かせ，そこに描き出された人間の生き方についても考えさせたい。また，これらの学習活動を通して，第3学年での学習に対する意欲を高めることも念頭に置いて指導に当たりたい。

また，小説の登場人物も古典に描かれた生き方も，自分や社会と深い関わりをもっている。義務教育の最終段階として，読むことを通してより広い視点から人と社会の関わりについて考えさせ，第3学年での国語の学習の見通しをもたせたい。

「握手」は，道徳のD－(19)生命の尊さ，D－(22)よりよく生きる喜びに当たる。